

2021年7月18日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第64巻第16号(通算3244号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

かみさま **神様がすべての人と共に** おられる
あかし **ことを証ししていく教会**



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この希望が失望に終わることはありません。私たちに与えられた聖霊によって、
神の愛が私たちの心に注がれているからです。(ローマの信徒への手紙5:5)

せいれいこうりんせつ だい しゅうじつ
聖霊降臨節 第9主日

れいはい **《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも**
しちょう **ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をしていただけます》**

ぜん そう **前 奏 (黙 禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)**

まね **招きの詞** しへん **詩編** 85編 11-12節

さんびか **賛美歌** 21-55番 「人となりたる神のことば」 (©著作権消滅)

せいしょ **聖 書** サムエル記 下 6章 16, 20-23節

いの **お 祈 り**

さんびか **賛美歌** 21-225番 「すべてのものらよ」 (©著作権消滅)

メッセージ 「ミカル、怒る」 向島伝道所・岡嶋 千宙 伝道師

さんびか **賛美歌** 21-558番 「主よ、聞きたまえ」 (©著作権消滅)

しゅいの **主の祈り** 21-62番 「天にいます 私たちの父」 (©教団讚美歌改訂委員会)

ささげもの **献 げ 物 (*)**

はけん **派 遣** 21-91番 「神の恵みゆたかに受け」 (1節のみ) (©JASRAC)

しゅくふく **祝 福** 岡嶋 千宙 伝道師

こうそう **後 奏** アーメン コーラス (21-40-6番) (©著作権消滅)

ほうこく **報 告** (4頁をご参照ください)

となり **《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》**

* 「献げ物 (献金)」は参加費ではございません。

うけつけ **受付に献金箱が** ございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 詩編 85編 11-12節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

11 慈しみとまことは出会い

義と平和が口づけする。

12 まことは地から芽生え

義は天から目を注ぐ。

聖書 サムエル記 下 6章 16, 20-23節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

16 だが、主の箱がダビデの町に着いたとき、サウルの娘ミカルは窓から見下ろし、ダビデ王が主の前に跳ねたり踊ったりしているのを見て、心の内で蔑んだ。

20 ダビデが家の者を祝福しようと戻って来ると、サウルの娘ミカルがダビデを迎えて言った。「今日のイスラエルの王はなんとご立派であったことでしょう。一人の愚か者が恥ずかし気もなく裸になるように、仕え女や家臣の前で裸になられたのですから。」²¹ ダビデはミカルに言った。「あなたの父やその家の誰でもなく、この私を選んで、主の民イスラエルの指導者と定めてくださった主の前なのだ。その主の前で私が踊ろうというのだ。²² 私は今にも増してもっと卑しくなろう。自分の目にさえ卑しい者となろう。だが、あなたの言う仕え女たち——彼女たちからは、誉れを受けるであろう。」²³ サウルの娘ミカルには、死ぬまで子どもがなかった。



《先週の礼拝より》7月11日 部落解放祈りの日（聖霊降臨節第8主日）礼拝
メッセージ「私たちの結ぶ実」より 水谷憲牧師

聖書：マタイによる福音書 7章 15-20節

今回の聖書、冒頭には「偽預言者に注意しなさい」という言葉が置かれている。この福音書が書かれた当時、偽メシアや偽預言者が良い顔をして近づき、イエスがキリストであることや、キリストの十字架による救いを否定して教会の人々を混乱に陥れようとしていたのだ。まるで悪徳商法の業者のようだ。ニセモノに対し、今の私たちはどう注意すれば良いのか。

「偽」という字はもともと「人が何かをわざとすること」か「人の真似をする」といったことを表す漢字で、そこから「ごまかす・だます」の意味になっていったという。私たちは知らぬうちに人の存在・人の目・人の評価を気にして、わざと何かしてみたり、うまくやっている誰かのまねをして無難にやり過ごそうとしたりすることはないか。そんな偽りの行動は、本来の自分であれば結ぶはずのないニセモノの実とは言えないか。「茨からぶどうが、アザミからいちじくが採れるだろうか」とイエスは言われる。茨やアザミが悪い木だという意味ではない。茨にも茨の役目があり、アザミにもアザミの価値が神によって与えられている。実はごく当たり前のことを言っているだけだ。ニセモノたちは自分が茨でありながら、ぶどうの実をつけるかのように思わせたりして私たちをだまし、惑わせようとしているのだと。

私たちはイエスの言うように、実を見て相手が本物かニセモノか見分けることのできる力を養っていかねばならない。また同時に、自分が本来の自分とかけ離れた実を結ぶかのように装ってはいないか、すなわち偽りの悪い実を結んでしまっていないか、自分の姿も改めて振り返らねばならない。もしもニセモノの実・悪い実を結んでしまっていたなら、私たちは来るべき日に切り倒されて火に投げ込まれることのないよう、罪を悔いて改めなければいけない。私たちが自分の結んでしまったニセモノの実について心から悔い、改めようとするとき、神は復活の主イエスと共に私たちを新たな歩みへと押し出す大きな力を与えて下さるに違いない。

相手が本物かニセモノか見分けることなど実際には難しい。まずは人のことより自分の姿を謙虚に振り返りつつも、とりあえず悪徳商法、特にうまいことばかり言う訪問販売にはくれぐれも気をつけていきたいものよ。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 (7月11日)

礼拝出席 大人5名 (中継動画再生数15回) 献金 7,000円 感謝

◎次週 2021年7月25日(日) 聖霊降臨節第10主日礼拝

招きの詞 詩編 107編 1節

聖書 マタイによる福音書 9章 9-13節

メッセージ「平和をつくるために」牛田匡牧師

賛美歌 448番 (©JASRAC)、486番 (©JASRAC)、「平和の出発点」(©塩田泉)

礼拝はインターネットで中継配信いたします。礼拝後に釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」を行います。どなたでもご参加ください。

◎お知らせ

- ・本日の礼拝後には「聖書を読む会」を行う予定です。テキストは『創世記』第31章で、コピーを配布いたします。お時間の許す方はどなたでもご参加ください。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、大阪府には「まん延防止等重点措置」が取られています(8月22日まで)。ご自身が感染しないためにも、また他人に感染させないためにも、そしてまた医療現場の逼迫を防ぐためにも、教会堂に集まる形での礼拝にこだわらず、インターネットの中継配信を利用したご在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。教会では換気やマスク着用など感染予防に留意しながら礼拝をいたしますが、教会にいらっしゃる際には、ご自身の体調にご注意いただき、検温、手指消毒とマスク着用、お隣の方との間隔をあけた着席をお願いいたします。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただくことができます。またご希望の方にはご自宅までお届けいたします。ご遠慮なくお知らせください。
- ・7月24日(土) 13:30~15:50に関西セミナーハウスにて講演会「シュリンクするまち・リボーンするまち」が行われます。ZOOMを利用したリモート参加による聴講もできます。地方都市の人口減少による「シュリンク(縮小・萎縮)するまち」が、「リボーン(再生・生まれ変わり)するまち」となるためのヒントなどについて話されます。参加費は1,000円、21日(水)がべ切です。日本クリスチャンアカデミー・関西セミナーハウス活動センターのホームページ(右のQRコード)にてご確認・お申込みください。



◎ 次週以降の行事予定

	会場	メッセージ	行事
7/25	久宝寺地区 久宝まぶねこども園 (新園舎・教会堂)	牛田牧師	誕生者祝福式・おにぎり支援
8/1		水谷牧師	平和聖日・ユウカリスト
8/8		牛田牧師	
8/15		岡嶋伝道師	

2021年度 修学院フォーラム「社会」第3回 日本クリスチャンアカデミー
関西セミナーハウス活動センター

シュリンクするまち・リボーンするまち

リモート開催 (Zoom)
会場参加も可能

講師：高田 清太郎 (株式会社高田建築事務所 代表取締役会長)

日本は大きな曲がり角を迎え「少子高齢化問題」「永続問題」に直面している。その結果「空き家・空き地問題」が急速に拡大していることは否めない。指をくわえて手を加えない建築物・工作物は一気に風化し長編を撰すだけでなく危険をも内包している。やがて、その様なまちが時と共に容れ果てて衰退していくのは必然なことであり魅力のないまち・誇りの持てないまちには人は移らず、集まってこないというマイナス循環が生まれることになる。長年培ってきた伝統文化も要放棄。人がいないことで事業継承が出来ない事例は数多である。技術の継承も出来ず大きな資源を失うことになる。新築長岡岡野探田屋「明治期に築いていた旧サフラン酒本舗は長い間10歳を抱えたままだま返し蔵戸スピードをとめることができなかったが長岡市が購入することで有志が立ち上がりまちおしこの機会とスタートした。一人一人は小さな力(限りなくゼロに近い)かも知れないがZEROとZEROが重なって文字通り無限「∞」の可能性が生まれることを願い、一歌集約ZERO2Rebornを期するものである。

日時 2021年7月24日(土) 13:30 ~ 15:50

参加方法 リモート参加 または、関西セミナーハウス「別館」会場(会場は申込先着10名まで)

参加費 リモート/ 未館共通 1,000円 学生 500円 [リモートは税込 (税込先裏面)]

講師は、インターネットを通じて講演し、話し合いに参加します。参加者は、次のいずれかの方法で参加できます。
[リモート参加] ペンコンソフトウェア等を利用して、任意の場所からネットを通じて参加することができます。申し込みの欄にメールアドレスを告知してください。メールアドレスとZoomの招待状をお送りします。
[会場参加] 関西セミナーハウスの会館に集まり、大画面の映像とスピーカーを通して講演を聞き、話し合いに参加します。

高田 清太郎 たかた せいじろう
1949年、新潟県長岡市生まれ。1973年日本大学理工学部建築学科卒業、1976年高田建築事務所を創立。一級建築士、カーナル協会会員、新築大学工学部建築学科、同大学院自然科学研究所、県立新潟女子短期大学(現・新潟県立大学)などで教鞭を執った。日本建築学会北陸支部コンベンヌ委員会、1999年新潟県建築士事務所協会設計コンベンヌ優秀賞、2003年日本建築学会事務全国大会受賞、2005・2014年日本建築学会北陸支部北陸建築文化賞個人賞受賞、日本建築学会、日本電工学会など学会役員多数。
木の構造デザインを生かした空間づくり、斬新性のある住まいづくり「風舞」を提唱、実践。2006年「リブゾンの森 間知つくりプロジェクト」を皮切りに、建物、環境を再生するプロジェクト、ムーブメントに次々取り組む。著書として、『風舞 祝詞とささの鼓』(2002年・新築日報事業社)、『我が家が一番 放浪者の風舞にすんで』(2004年・新築日報事業社)など。

*お申込みは 7月21日(水)までに Fax(裏面)、電話、電子メール、WEBフォーム等でお申し込みください。